

氏名	田 村 慎一郎		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	博甲第 773 号		
学位授与の日付	平成元年 3 月 31 日		
学位授与の要件	医学研究科外科系耳鼻咽喉科学専攻 (学位規則第 5 条第 1 項該当)		
学位論文題目	全胚培養法を用いたラット内耳初期発生に関する研究		
論文審査委員	教授 村上宅郎	教授 松尾信彦	教授 徳永 勲

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

ラット胎仔を妊娠11日目の夜に摘出し、yolk sacを開放した状態で24時間回転培養した。培養開始時と終了時に胎仔の発達と発育の指標として、体節数と頭尾長を測定した。培養胎仔の一部について発育の指標として総タンパク量を測定した。これらの結果を12日目、13日目胎仔の結果と比較検討した。その結果、培養胎仔は体節数で9.3、総タンパク量で12日目胎仔の2倍以上の増大を示していたが、13日目胎仔と比較するといずれもやや抑制されていた。さらに培養胎仔9胎の連続組織標本を作製し、内耳の発達について光顕的に観察した。培養胎仔ではendolymphatic ductは背側に伸展し、acoustico-facial ganglionは著明な増大を示していた。otocystは扁平となり、腹側へ伸展しvestibular portionとcochlear portionが確認できるようになっていた。13日目胎仔との間に内耳の発達に差異は認めなかった。本培養法は哺乳類内耳の初期発生を観察する上で有用な実験手法と考えられた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究はラット胎仔の全胚培養法を開発改良したもので、加えてこの方法は内耳初期発生を観察する上で極めて有用であることも証明した。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。